

ビゼー：歌劇「カルメン」 舞台と音楽ガイド

2004.12.31

表の見方 小節番号での + - は、それぞれ練習番号から数えて何小節目、練習番号の前小節という意味です(+1は省略)。
 パート欄はその箇所でも最も重要なパートを示します。全員または明らかにわかる場合は空欄になっています。
 多少、しゃべったことも書いてありますが、最終的にはあくまで指揮者の指示に従ってください。 カットについては、現時点でわかっている内容について書いてあります。
 今後の指揮者からの指示に従ってください。

第1幕 ゼヴィリアにある煙草工場の前

練習番号	小節	パート	演奏のポイント	舞台での動き
No.1 前奏曲				
冒頭			イ長調、4分の2拍子、Allegro giocoso (= 愉しげに) この旋律は第4幕のはじめで闘牛士達が登場してくる場面で演奏されるものです。つまり、華やかに着飾った闘牛士やそれを観に集まった群衆(もちろんおめかしした若い女性も多く混じっている)たちがこれから始まる闘牛を前にわくわくした気分を音楽にしたものです。その明るく愉しげな音楽は、その後にくる悲劇(カルメンがホセに刺殺される)を強調するのに効果的でもあります。	前奏曲は3つの主題からなります。 : 1. 行進曲 2. 闘牛士 3. 運命のモチーフ
3			ここは第2幕で闘牛士エスカミーリョが歌う「闘牛士の歌」の旋律。	
5			再び、冒頭の旋律。	
6		CL,Fg,Tp,Vc + Hr,Tim,Cb	G.P.の後、イ短調に転調し、明るく華やかな気分が一転して不吉な緊迫感を漂わせませす。クラ、フアゴット、トランペット、チェロは渾身の力を込めて旋律を奏しなければなりません。これはカルメンの悲劇的な死を暗示する「運命のモチーフ」で、全曲中何度も繰り返して出てくる極めて重要なものです。ホルン、ティンパニ、コントラバスの8分音符2個はその運命を止めることが出来ない絶望感を表わします。ヴァイオリンとヴィオラのトレモロはダイナミクス、クレッシェンド、ディミニユエンドを正確に(最初の2小節間は ff、その後は mp、最後の解決しない不協和音は激しくキツパリと(ヒロインの劇的な最期を暗示する)。	
No.2 第1幕 イントロダクション				
冒頭	+5	FL,Ob,Vn I,II	上向、下降音階はのどかに(兵士達ののんびりした雰囲気を表わす)。しかし、伴奏のチェロ・バスは幕開きへの期待を込めて弾むように。開始後クレッシェンドのあたりで幕が開く。兵士達の男性合唱が出る(7+5)まではしっかり演奏しましょう。特に、Vn I,II は音程注意! 少し大きめに。	幕が開く。非番の兵士たちが話所の前で所在なくたむろしている。時間は昼すぎ前。人々が通りを行き来している。
7	+5		男性合唱は小声で歌うので、オケもそれに音量をあわせませんが、アクセントやスタカートはむしろ強調して演奏すべきです。	「広場をああして、足しげく行ったり来たり、まったくあかしの連中だ…」
8		Vn I, Va	モラレスの歌をなぞる。	士官のモラレスが「こうして話所に立って、煙草をふかして通行人を眺めてひまつぶし…」と退屈な毎日にうんざりと歌い、他の兵士達もそれに合わせる。
9		FL,Ob	5小節後の Animato un poco に繋ぐための重要なブリッジ。最後2小節のクレッシェンド、ディミニユエンドに若干のリタルダントがあります。	
	+5	Vn I, Fg	Animato un poco 3連符、弱すぎず(mfくらいで)、ミカエラのおどおどした不安げな様子(17歳の少女が男どの中に入ってくる、いわば羊が狼の群れに飛び込むみたいなもの)を表現しなければなりません。Fgも重要、締めくくりに下降3連符はモラレスとミカエラの会話を引き出すブリッジ。観客は登場してきた可憐なミカエラの第一声に固唾を飲むところ、クレッシェンドを忘れずに、すべてが自然に。	ミカエラ登場。キョロキョロと見回しながら兵士に近づき、兵士達にとってはヒマつぶしのいいカモといえます。 <u>練習番号 から数えて19小節目に練習番号 を追加してください。</u>
	+23	弦	Vn I の下降3連符の後、歌をよ「聴くこと、とりわけ、小節の頭の音を丁寧に、飛び出さないで、	モラレスがいち早く見つけ、気取って話し掛ける。ここから音楽がめまぐるしく変化するので、状況を正確に頭に入れて演奏することが大事です。
	+29	FL,CL,Fg,弦	モラレスとミカエラの会話の語尾(?!とか!)を音楽で表現しています。	「ホセ伍長を知っていますか?」と訊ねるミカエラに、モラレスは「皆知っているよ!」と答える。
10			行進曲風の旋律。この後ホセが行進曲と共に登場してくる様子を感じさせます。スタカートを効かせて軽やかに。	「ホセは別の隊だから今はここにいない、けれど「もうすぐ当番の交代でやってくる。」と答えるモラレスに他の兵士達も唱和する。
11	-8		Un poco ritenuto モラレスが精一杯甘い言葉でミカエラを引き留める音楽。練習番号11番2小節前の colla voce(colla parte)は「歌のリズム・テンポに合わせる」の意。歌は大きくリタルダントする。特に2小節前の2拍目はフェルマータに近い。Suivez = 歌に従う。	「ホセが来るまで、ここへ入ってひと休みしなさい」とモラレスはミカエラを誘う。 <u>練習番号11番2小節前に colla voce または Suivez が譜面にない! パートは書き込んでください。</u>
11			Tempo! 突然の f にアップ・テンポ。「とんでもない」というミカエラのびっくりした様子を音楽に。	ミカエラは「入れ、ですって! ご遠慮しますわ」と断る。
	+11		Un poco ritenuto 再びモラレスがミカエラを説得。Tempo! の2小節前も colla voce,	モラレスは「こわがらずにお入りください。…」と必死に食い下がる。
		Fg, Vc	Tempo! 3連符を明確に、ミカエラの歌に合わせるが、ここは指揮を見ること。	ミカエラは「まさか、そんな! またあとで来ますわ」とさらに断る。
12			f からスピドで pp、4小節目からクレッシェンド。	モラレスはミカエラをつかまえて引き止めるが、ミカエラは必死にその手を振り解いて逃げ出す。
	+11	Vn I,II+木管	ミカエラの逃げ去る姿を音楽にしている。ダイナミクスを正確に。	ミカエラ「さよなら! またあとで!」 <u>練習で時間をかける箇所のひとつです。</u>
13			再び、幕開きの音楽へ復帰します。	兵士達は幕開きと同じ退屈さに戻る。
No.3 行進曲と腕白小僧たちの合唱				
冒頭		Tp, Pic, FL	最初の Tp は遠くで、次のは近くで、Tp, Pic, FL 共早めに譜面を読み、歌合わせの練習開始時には完璧に仕上げておいてください。	話所の前で兵士達が整列している。
14			すべてのパート:短前音は拍の頭です。	このあたりで、ラッパ手、笛吹き、次いで街の少年たちが行進してくる。これに続いてホセ率いる部隊が登場。隊長はスニガ。
15	-4		小節毎に微妙に音が変わります。譜面にはミスプリントやかすれていることがありますので、スコアで確認ください。ここが決まらないうと、歌が始まりません。17-4も同じ。	少年合唱が 15 から歌いだす。
18			レチタティーヴォ。これはオケにとって歌の伴奏よりも難しいです。譜面に書いていない様々な決め事がありますので、練習に出で慣れなければちゃんと演奏はできません。CD(レーザー版でないもの)を聴くといひ勉強になります。	衛兵の交代の儀式だが形ばかりで、モラレスがホセに「可愛い子が来たぞ」と声を掛ける。(ビゼーの死後、ギローによって書かれたレチタティーヴォ(セリアに旋律があり、オケが合いの手を入れる)です。ここは歌の曲の中にありますが、この後単独のナンバーとして数多く出てきます(〜B!)
	+2	弦	音符の長さについて:レチタティーヴォで、小節の頭までタイのかかった音符は次の拍の前直前まではなく、最後の音符(小節の頭)を弾き切って終わりにしてください(最後の4分音符を拍通し伸ばさない)。通常の音楽と違って、オケの後に入る歌にかぶらないように早めに音を消すためです。	「ここだけでなくすべてのレチタティーヴォにおいて、また弦楽器だけでなく、すべてのパートの方も最後の音を短めにすることは必ず守ってください! 1人だけ音が残るのも格好悪いです!」
19			少年たちの合唱が遠ざかっていくのに合わせて、オケも音量を落とすといってください。	モラレスの部隊が去っていく。少年たちも退場。
20	+14	弦	ppp ながらきっちり正確に。	<u>練習で時間をかける箇所のひとつです。</u>
No.3bis レチタティーヴォ				
		弦	冒頭は決然ときっぱり。練習番号21に Poco piu Allegro を記入してください。そのVn I は軽やかに。	隊長スニガとホセの会話。最初は隊長が煙草工場について訊ね、ホセがその説明をする。ホセは工場にいる運葉な女たちには興味ないと言う。
21	+4	Vn I,II	2曲目でミカエラが最初に歌う時の旋律を再現します。ピチカートと直前の音符(3拍目のウラから)を「ミカエラ」と歌いながら愛して弾きましょう!	スニガからミカエラという娘がおまえの頭にあるからだろうと冷やかされる。
No.4 合唱とセーヌ(煙草工場の女たちの合唱)				
冒頭			待ちかねた昼休み時間というワクワクした気分を出す。リズムは歯切れよく(特に間に挟まる16分音符)、クレッシェンドとともに急ぎ込むように。頂点の ff はきっぱりと。	鐘が鳴って、街の男たちが集まってくる。一方、ホセは周囲のことには無関心に装備の点検などをしている(レーザー版では鎖を作っている。)
22			スタカートはテヌート気味に、しかも軽やかに。女性たちの気を惹こうとする男たちの感情を表現しましょう。	女工たちを待ち構えようとした男性たちの合唱。「栗色の髪の子、愛の言葉のささやきを聞かせよう。…」など。
23	-4	木管、弦	この4小節間は4つ振りです。つまり急にテンポが遅くなるということです。	
23		Vn II, Vc	ミュート付の分散和音(努力の割りに報われませんが、しっかり練習しましょう! 小節の中央部、最高音とその前後がよく聴こえるように。)に乗って優美な旋律を官能的に演奏してください。	兵士達の合唱「見ろよ、煙草を横つちよにくわえているぜ!」に乗って、女工たちが煙草工場から出てくる。
	+17	Vn I,II, Va, FL, CL	なんでもない音階ですが、女声合唱を導く重要なブリッジです。美しく! 期待を持たせましょう。弾き出してからクレッシェンドして、ディミニユエンドして着地します。	
24			揺れ動(Vnの16分音符は、たゆむ煙草の煙を表わす。是非とも大人の雰囲気詩的な情景を頭に浮かべてみてください! 繁華街の道端にしゃがんで煙をふかす茶髪の子高生や、ホームの喫煙コーナーで忙しく煙草をくわえるOLの姿じゃなくて!)	女工たちの合唱「ゆらゆらと、煙草のけむり」。男たちの甘い言葉なんか、喜んだり、誓ったりしても、そんなもの、どうせ煙みたいなものよ」と歌う。
25			スタカートを効かして、冒頭の旋律の変形。女声を半分に分けて一方が弦で「言い寄る男の言葉なんて」、他方が木管がいっしょに「それも、煙よ!」と合いの手を入れる見事なところ。	
26		Vn I,II, Va	最後の弦の16分音符は空に消え入る煙を表現。 Smorzando = 次第に弱く、速く消え入るように。	
27			突如、緊迫感をもって。	街の男たち「カルメンの姿が見えないぞ!」
	+9		何度も練習する箇所です。耳で慣れて覚える必要があります。「運命のモチーフ」です。	カルメン登場。 <u>練習で時間をかける最重要箇所!</u>
28	+17		ここに新しい練習番号28を追加してください。Suivez = 従え…スコアには quasi recitativo = ほとんどレチタティーヴォ の意。自在に変化する歌につけますが、次のTempo I で直ぐにテンポを戻してください。木管の合いの手は遅れないように、最後のピチカートはしっかりと。	カルメンが歌い出すところ。「何時になったら好きになるのか、わかりやしない…」どんなオオオでも、幕開き後の題名役(=主役)の第一声はきわめて重要で、作曲家はそれなりに丹精をこめて音符を書いています。演奏する側もそれなりの心構えで!

No.5 ハバナ			
冒頭		言わずと知れた名曲中の名曲です。旧スペイン領だったキューバのハバナ地方で生まれたリズムがスペインに持ち込まれ、ハバナとしてヨーロッパに広まったものです。	「恋は、いうことを聞かない小鳥、飼いならすことなんか、誰にも出来ない…」 男たちはうっとり聴いているが、ひとりホセだけが無関心で何やら作業をしている。それに目をつけたカルメン、歌いながら盛んにホセに色目を使ったり、ちょっかいを出す。
29			合唱が加わり、カルメンの歌を繰り返す。
30	-1	これ以降「の直前、歌は多少のルバートをかけますのでよく聴く(指揮者を見る)こと、	
No.6 セーヌ			
冒頭		緊迫した音楽。弦は「運命のモチーフ」の断片を奏した後、4分の3拍子になって再び前奏曲の終わりまで演奏した「運命のモチーフ」が完全な形で現れる。	男たちは「カルメン、みんなこうして会いにきたのだから、返事くらいしてくれ！」とカルメンを取り囲むが、カルメンは皆を見回すと真っ直ぐホセのところへ行く。二人は顔を合わせる。
35		最初の和音は、カルメンが花を投げつけたと同時に、あくまで花1輪です。f ひとつのそれなりの音で、Timはスピ dim。指揮者は舞台のカルメンの投球動作を見ながら振り下ろします。	カルメンは胸につけていたアカシアの花をホセに投げつける。続いて、女工たちがホセに向かって「ハバナ」の一節をほぼ無伴奏で、冷やかしように歌う。
36		表情豊かに、南国スペインの情熱を瞬時に発散させてください。	歌い終えると大笑いして、工場に駆け戻る。折しも昼休み終了の鐘が鳴る。他の連中も退場。ホセだけが残り、足元に落ちた花を拾い上げる。
No.6bis レチタティーヴォ			
冒頭		冒頭の1小節(ホセが「あの目、あのふてぶてしさ！」と歌うところ)は1拍目しか振りません。2小節目から出る Fg, Hr は要注意です。2拍目のウラから出る Vn I は「運命のモチーフ」です。	ホセの独白(独り言)。「この花は俺に打ち込まれた弾丸のようなもの!」花の香りを嗅いで「魔女がいるとすればまさにあの女こそそれにちがいない」と言って花を捨てようとしたところに、
37	+9	長調に変わり、ホセとミカエラの再会を明るく彩ります。譜面に f を書き込んでください。	ミカエラが入ってきてホセに声を掛ける。ホセは慌てて花をポケットに捻じ込む。
No.7 デュエット			
冒頭		全曲中、美しく最もリズムに満ちた箇所。冒頭の CL, Hr がこの二重唱のすべてを決めます。4小節の序奏の後、ミカエラの歌から、8分音符のアウフタクトがありますので、譜面に書き込んで飛び出さないように!	ミカエラはホセの母親から預かった手紙とお金をホセに渡す。
	+15	FL, CL suitez = 歌に従って(スコアでは colla voce)。ミカエラがちよっと口ごもるところ。次の小節でテンポを戻すことを忘れずに。	ミカエラ「困ったわ、言えないわ…」ともじもじするところ(母親からこぼったキスのこと)。
	+22	Vn I 8分音符は表情豊かに、美しさの限りを尽くして!	「お金よりいいものよ」
38		木管 本管のアンサンブルを聴かせるところ。ミカエラ自身の言葉。6小節目はハーブの3連符が2拍分あります。	ミカエラのソロ。ホセの母親に言われたことをホセに伝える。「教会を出るとき、あたしを抱いてこう言ったのよ」
	+7	Vn I, II, Va 4分の2拍子。母親の言葉をミカエラが真似る。少し雰囲気を変えて、ピチカートは歌に合わせて(テンポが少し速まっています)。これもミカエラの歌には8分音符のアウフタクトがあります。4小節後のフェルマータの次の小節もアウフタクトあり。パート譜に書き込んでください。	「町まで行ってくれないか、セヴィリアに着いたらうちのせがれのホセを探しておくれ…」
39		4分の4拍子。L'istesso tempo。= 拍子が変わっても同じテンポで。この旋律は全曲中最も美しいとも言われるものです。母親がわが子を想う気持ちです!ハーブが3連符でリズムを作ります。息の長い音楽を!	ホセに対する母親の愛情を表す。「母さんが、夜も昼もあの子のことを思っていると、寂しくもあり、遣いたくもあり、我慢して帰りを待っている…」
	+16	フェルマータ。歌を聴いて。	「私の代わりに、あの子にキスをしてやっておくれ、」
	+17	Vn I, II, Va a tempo. Un poco animato. ややテンポを上げる。二人の感情の高まりを表現します。	ホセ「おふくろのキス?」、ミカエラ「坊やへのキス、」
40	-6	Hr II colla voce = 歌に合わせて。Hr II は指揮を良く見てしっかり吹きます。	ミカエラ「約束どおり、あなたにキスをしますよ、」
40	-4	弦 a tempo. オーケストラだけ。(言葉で説明するのは野暮です!)その気になって!	ミカエラがホセにキスをする(ごく自然に母親のように)。
40		Hr ホセの夢見るような、幸せな気分を出しましょう。ホセの歌にも8分音符のアウフタクトあり。Hrが重要!	ホセのソロ。「おふくろの姿が目に見えないうちの懐かしい故郷…。直ぐにミカエラが加わり二重唱になる。
41		弦 二重唱の頂点。二人がユニゾンで歌います。テンポが少し揺れます。	二人が声をそろえて歌う。「おお、懐かしい思い出!」
	+4	今回の公演はここからカットして、練習番号44の10小節前に飛びます。	
	+4	Vn I, Va この締めくくりのフレーズは重要です。歌に合わせてしっかり歌いましょう。	
	+5	Hr, Tp, Tb 4分の4拍子。「運命のモチーフ」が顔を出す。金管がクレッシェンドする3つの4分音符とスフォルツァンドは重要。この5小節間、不気味な雰囲気を出すこと。	ホセがカルメンのことを思い出すところ。「とんだ悪魔に引っかかるころだった…」
	+10	木管 練習番号38と同じ。再び幸福な気分です。	「遠くからおふくろが俺を守ってくれる…」
	+15	弦 決然と、悪魔から息子を守る「おふくろのキス」	「送ってくれたおふくろのキスが息子を守ってくれる…」
42	-2	弦 3拍目からスピで a tempo. Vn I の sf まで急き込むように。しかし sf は美しく。重要な箇所です。	「悪魔」と言うので変に思っで尋ねるミカエラに、ホセが慌てて「な、なんでもない。」と否定する。
42		弦 3拍目の f はホセの驚きを表す。「え! そう?」という程度のもの。	ミカエラが「今晚帰って、お母様に会うわ」と言うと、ホセが「おふくろに会って!」と少し驚く。
	+16	練習番号39と同じ。少しテンポを落ち着かせて。	ホセ「では、こう言ってくれ、息子は母さんを愛している。母さんを満足させる息子になるよ…」
43		Hr 練習番号40と同じ。きわめて重要な箇所です。	ミカエラ「ええ、約束するわ、坊やからって、」
44	+9	Vn I, II 後奏。ヴァイオリン弾きとして爽やかに尽きる箇所です。あくまでも美しく、可憐に弾きましょう!最後のピチカートを大切に。但し、譜めくりはピチカートの前に急いで!	技術的に難しい箇所をさらうのに時間をかけるより、こういうところを何度も納得いくまで練習しましょう!!
No.7bis レチタティーヴォ			
	+9	Vn I 16分音符は歯切れ良く、目の前のその手紙を読まれるとミカエラは恥ずかしいからで、彼女の頬が赤らむ瞬間を音楽で表現しています。右下参照。	ミカエラとホセの会話。ミカエラがホセに母親からの手紙を渡し、自分は買い物があるからと立ち去る。
	+17	弦 前の曲の2重唱の旋律。	ひとり残ったホセは手紙に目を通し、「言う通りにするよ、ミカエラと結婚するよ」と言います。エーザー版では「軍隊をやめてここに帰っておいで、仕事について結婚するがいい、いい子がいるんだよ。この手紙を持っていく子だよ…」と実際に読み上げる。だから、ミカエラは恥ずかしくていかなかったのです。
No.8 合唱(女工たちの喧嘩)			
冒頭		Vn I, II 女性の悲鳴を表すトレモロです。 全曲の中で、最も練習に時間を割く曲のひとつです。心して練習しておいてください。	舞台裏(工場の中)から女性の悲鳴。工場から女工たちが飛び出てくる。 「誰か来て!」という叫び声に、兵士達が集結。女工たちは二つのグループに分かれて罵り合う。
48	+10		隊長スニガがホセに調査を命じる。
49	-12	CL, Fg 練習番号48を追加してください。	ホセが工場の中に入って行く。再び女工たちが二手に分かれて言い争う。
51		弦 ここからは、オケだけ。各パート、テンポに気をつけて!	兵士達が人々を追いやる。
	+18	弦 練習番号36と同じ旋律。Va, Vc の対旋律しっかり!最後までイン・テンポで、	首謀者カルメンがホセに引き立てられてくる。
No.9 シャンソンとメロドラマ			
冒頭		弦 レチタティーヴォ。最初からしっかり弾きます。ここも2小節目の頭の音符は短く弾きます。	カルメンを運行してきたホセが隊長スニガに報告をします。
52			カルメンはスニガの尋問にふてくされて鼻歌で返す。
53		CL 突然の ff。17小節目のクラリネットは ppp ですが重要。この音を頼りにカルメンは再び、「トラララ…」と歌い出します。同様に、そこからさらに8小節目のホルンも同じかたちで ppp ですが、これも重要です。	兵士の制止を振り切って、傷を負った女がカルメンに飛び掛り悪態をつく。カルメンはその女を振り払いさらに飛びかかろうとしてホセに引き止められる。
54		FL, CL 「運命のモチーフ」を順に演奏します。ここからレチタティーヴォ。終わりが11小節目の Allegro での ff は、先ほど投げつけられた花を持っていることをカルメンに見破られてホセが動揺する瞬間。	スニガはホセにカルメンを縛り縛るよう命じ、命令書を書くために詰め所に入る。その間、カルメンはホセに「どこに連れて行くの?」「あなたは私を好きでしょ、など盛んに話しかける。ホセは動揺を隠せず、かろうじて「話しかけな」と命ずるのが精一杯…。
No.10 シャンソンとデュエット(セギディリアとデュエット)			
冒頭		FL これまた有名な「セギディリア」の歌。FLの序奏から、伴奏の弦はリズムカルに、小節の頭はハーブとチェロのピチカートです。カルメンの歌をよく聴き、テンポが緩むところは先に行かないように。突然荒々しく、埃っぽく乾いた音で!(湿気が多い日本の潤いのある世界とは逆です。)	アンダルシア地方の大衆的な踊り。3拍子のアップテンポの曲。カルメンがホセを誘惑する。「セヴィリアの城壁の近く、なじみのリリーヤス・パティスの店へ、セギディリアを踊りに行くの…」
57	+6	弦 2小節間はレチタティーヴォ。このあたりは、歌にあわせる箇所が多いので要注意。	ホセ「黙れ、話し掛けるなど言ったら!」カルメン「話し掛けていないわ、ひとりで歌っているの!」
58		FL 8分の3拍子。誘惑の音楽にしては、FLの音符は軽やかで少女のような感じに聴こえるのは何故?	カルメンがあからさまにホセを誘惑始める。
	+14	FL, Va Andantino 8分の3拍子。とっておきの殺し文句を言い始めるころ。陥落寸前のホセの心境をフルートが表現し、ヴィオラが支えます。	ホセ「カルメン!」いよいよホセに毒がまわり始める。カルメン「伍長さんでもジブシー女にはそれで十分よ!」
	+32	Hr 4分の4。Moderato. 不吉な予感を Vn, Va のトレモロが表現します。さらにその4小節目の3拍目の Hr は重要です。	ホセはついに陥落。「俺が言うことを聞いたら(つまり逃がしたら)、その約束は守ってくれるのか?…俺を愛してくれるのか?」

59	-14	FL	8分の3、Tempo I. Allegretto. 舞い上がったホセを横目で冷ややかに見るカルメンとでもいいましょうか。	カルメン「もちろんよ！」、ホセはもうカルメンの腕に、縄をほどく。
59	-2	Hr, 弦	ピチカートは大きめ(m)、縦をそろえる。このHrの音と適切なクレッシェンドは極めて重要で	カルメン「二人で踊るのよ、セギディーリヤを。」、ホセ「約束だよ、カルメン！」
59		弦	カルメンが勝利の雄たけびを上げて歌い踊ります。2小節目から歌のためにdim.してmf。後は譜面のダイナミクスに従ってください。	繰り返して「セヴィリアの城壁の近く、なじみのリーリヤス・パティスの店へ、セギディーリヤを踊りに行くの…」
No.11 フィナーレ				
冒頭		弦	フーガ。テンポを守って。譜面の指定より大きめで。しっかり練習してきてください。	スニガ「さあ、命令書を持ってきたぞ、練習で時間をかける箇所のひとつ
60		弦	何かが起こるピンと張り詰めた静けさを出してください。5つ！音の変わり目を正確に。	カルメンは「ハバナ」を口ずさむ。
	+17	FL, CL	周囲の人々が目配しながらかルメンの逃走を助けようとする様子を描きま	ホセはカルメンを進行して歩き出す。
61	-1		カルメンの笑い声の直後に練習番号61に入る。Timのクレッシェンドはmoltoです！	カルメンはホセを突き飛ばし、逃げ出す。集まった群衆はカルメンの逃走を助け、女たちはスニガを囲んで大笑い。

第2幕 ゼヴィリアの下町にあるリーリヤス・パティアの酒場(第1幕から2ヶ月後)

Entr'acte 間奏曲				
		Fg, SnareDrum		この後、ホセが歌う「アルカラの竜騎兵」の旋律からとられたものです。
2		Fg, CL	クラリネットが主題、ファゴットが半音階の対位をつける完全なデュエット。	

No.12 シャンソン(ジブシー・ソング)				
		FL	弦楽器は練習番号9くらいまでは弓を置いてピチカート。	酒場でカルメンらジブシー女たちが踊ります。店には竜騎兵の兵士、隊長のスニガもいます。
10	-1	Hr, CL, Fg, 弦	colla voce = 歌に合わせて この1小節間テンポが緩みます。特にHrは指揮を見て入ってください。	このあたりから、テンポをどんどん上げていきます。歌が入るとその加減は変わりますので、随時、指揮者の指示に従ってください。
10			スピドでテンポを戻します。しかし、前より速く。	

No.12BIS レチタティーヴォ				
冒頭		弦	待ち構えて、きっぱりと。	ジブシー女のフラスキータが隊長のスニガに「店じまいよ」と言う。スニガは皆を誘うが断られる。
15		弦	8分音符はテヌート・スタカートで、Piu mosso やや動きをつけて、ピチカートからは軽快に。カルメンのうきうきした心の内を表現します。	スニガがカルメンの「お前を助けたやつは自由の身だ」と聞かされたカルメンが喜ぶ。つまり、ホセはカルメンを逃がした罪で牢屋に入れられていたのですが、この日釈放されるのです。

No.13 合唱とアンサンブル				
			冒頭は無伴奏の合唱、どの合図で自分のパートが出るか、練習中にきちんと理解してください。	舞台裏から「闘牛士ばんざい！」と聴こえてきます。店の外に闘牛士達が到着します。
16	+10		ここに練習番号16'を追加してください。	闘牛士達や町の人たちが酒場に入ってきます。

No.14 クブレ(闘牛士の歌)				
			フォルテとピアノ、ダイナミクスの変化を正確に。	闘牛士エスカミーリョが歌う。この曲の中だけでなくバリトンのアリアとしては最も有名な曲。
	+6		4拍目にある8分音符 Es - As の合いの手を強調してください(Tim は C - F)。この後何度も出てきます。	
18	-1		フレーズの最後の小節2拍目にある3連符も強調します。ややプレーキ風味で。	
終わり	-11		練習番号21'を追加してください。拍の頭をそろえて、リタルダントしていきます。	エスカミーリョが歌い終えて、女たちのところへ歩み寄り、「ラモール(愛)」と声を交わします。
	-9		歌が入れば数えやすくなりますが、とにかく指揮を見るしかありません。	メルセデス、フラスキータと順番に「ラモール(愛)」と応えて、最後にカルメンがたっぷり時間をかけて応えます。
	-8		2拍目からスピドでテンポを戻します。	

No.14BIS レチタティーヴォ				
		Vn I	16分音符など細かい音符のフレーズは事前によく練習しておきましょう。	闘牛士エスカミーリョがカルメンに言い寄り、名前を尋ねます。カルメンは軽いなします。エスカミーリョが諦めると、今度は隊長スニガがカルメンに「1時間したらまた戻ってくるぞ」と言う。

No.14TER 合唱				
	+9		9小節目からのディミニユエンドは、彼らが遠ざかっていく様を描きます。リタルダントも書き込んで	闘牛士エスカミーリョ達が店を去っていきます。

No.14QUATER レチタティーヴォ				
		弦		店から客が去ると、密輸業者のダンカイロがジブシー女たちに仕事の話を持ちかけます。

No.15 クインテット				
			全曲の中で、最も練習に時間を割く曲のひとつです。右の歌の内容の通り。この曲はおどけたやりとり、おおげさに驚くところ、心情を吐露するところなど起伏の激しい、とてもよってきた曲で leggiero = 軽快に。	密輸業者(ダンカイロ、レメンタード)とカルメン、フラスキータ、メルセデスによる五重唱。「いい仕事があるのだけど、女の手が必要だ。すぐ出かけよう！」、フラスキータとメルセデス「OKよ！」
28	+2	Vn I, II		カルメン「ああ、ごめんなさい、あたしは行かない」、「カルメン、頼むよ。」「一体なぜ？」
31	-6			カルメン「わたし、恋をしているの…」
31	-2	弦	チェロから、スピドでテンポを戻します。皆のビックリする様を爆発的に表現します。	皆「なんだって?」「カルメン、そりゃ冗談だろ?」
32		弦	音の跳躍はゆっくり、大袈裟に。16分音符はテンポを戻して。軽快かつおどけて。	ダンカイロ、レメンタード「そいつ驚いた。でもあんたは仕事と恋を両立してきたじゃないか!」
	+29	Vn I, Vc	16分の6。ヴァイオリン、チェロと16分音符が続きます。できるだけ弱く、滑らかに。	カルメン「一緒にいきたいのは山々だけど、今晚だけはだめなの…」つまりホセが来るからです。

No.15BIS レチタティーヴォ				
		弦	家で練習する気も起きない、譜面づらはなんでもないところですが、譜割りを間違えないように!	「いったい、誰を待っているのだ?」「私のために牢屋に入った兵士よ、「本当に来るのか?」

No.16 カンツァネッタ				
			オケはお休みで、練習番号36で弦のアルコが少しあります。	ホセが「アルカラの竜騎兵」の歌を歌いながら店に入ってくる。ダンカイロらは仲間に入るとカルメンに言って奥に隠れる。

No.16BIS レチタティーヴォ				
			終わりから4小節前、2小節目の f, ff はホセの嫉妬を表現。	カルメンがホセを迎える。カルメン「あんたの上官が来て、いっしょに踊ったわ」、ホセ「ない!」

No.17 デュエット				
			12小節間はレチタティーヴォです。	カルメン「あなたのために踊ってあげるわ」
	+13	弦	ピチカートの伴奏は歌に合わせて強弱を正確に。練習番号37の8小節前が f、順に p, mf, mf, f, p, mf, mf, (37)から pp、9小節目から f, p, mf, …(38)f, p, mf, mf, f, p, mf です。わからない人はトプに聞いて下さい。	カスターネットで囁きながらカルメンは踊ります。
37		Tp	バック・ステージ Tp は帰営ラッパです。	ホセはカルメンに踊りをやめるよう言います。「あれは帰営ラッパだ!」「それはありがたい、踊りのいい伴奏だわ。」「おれは兵舎に帰らなきゃならないんだ!」…カルメンはだんだん呆れ始めま
39	-1	CL	嵐の前の静けさ、大爆発の前の沈黙…。クラリネットの ppp はカルメンの心境をズバリ表現します。	カルメン「点呼!…営舎!…」ついに怒りを顔にし出します。
39		Vn I, II	大爆発。カルメンの髪が怒りで逆立つさまを正確な音程で駆け上がってください。	「ああ、あたしは本当に馬鹿だったわ!…一所懸命あんたを楽しませようと思ったのに…兵舎にお帰りの!」
	+15	弦	ピチカートは f で鋭く。カルメンの怒りをぶつけるように。2小節目も同じ。	「神は愛しすぎたことを許してくれる、タラタ!」
40		Vc, CL	情熱的なチェロのあとに、クラリネットの3連符は嘆息するように。	ホセ「おれをからかわないでくれ、おれだってつらい。こんなに深くおれを悩ました女はいなかった!」
41			今度は、こらえていたホセが熱くなっていく。弦楽器の3連符はたたみかけるように。	「おれの言うことを聞いてくれ!」
42	-8	Cor - Angle	「運命のモチーフ」です。美しいアリアの序奏に不安げな雰囲気を出します。	ホセは陶元から、2ヶ月前にカルメンが投げつけた花を取り出す。
42			テノールが歌うアリアでは超がつく有名な曲です。お客さんはこの曲を待ち、ソリストはこの曲に持てる力のすべてをぶつけます。オケもそれなりの気合を入れなければなりません。	「花の歌」「おまえがくれたこの花は…おれは全身おまえのもの、おおカルメン、おまえが好きだ!」ホセの純情さがストレートに表出された歌です。
44		Hr, Vc, Cb, Tim	1小節前のカルメンの言葉を聞いて最後「pas」でGに上がったところが小節の頭。	カルメン「うそ! 愛してやしないくせに!」
44		弦	できるだけ軽快に。	ここでカルメンはホセを仲間を誘い始める。もちろんまじめなホセは断り、カルメンはさらに誘う。
48			突然の ff。	ホセ「いやだ、もう聞きたくない! 連隊旗を捨てて、脱走、恥だ!…そんなことしたくない!」
49	-4		めまぐるしく曲想が変化しつつ二人の決裂でピークを上り詰めます。	カルメン「もうあんたなんか愛してない!…永遠にさよなら!…いっちょまえ!」、ホセ「さよなら!」

No.18 フィナーレ				
冒頭			冒頭の2小節間、指揮棒は小節の頭だけ振ります。	ホセが酒場を出ようとしたその時、スニガが扉をノックします。「おい、カルメン、おい、おい！」
	+5	CL, Fg	テンポが少し上がります。シンコペーションは正確に。	スニガ「自分で開けて入っていくぞ」
	+11		「おやおや」という呆れたという、おどけた雰囲気を出します。	店に入ったら、なんとそこには、こともあろうに部下のホセがカルメンといっしょに！
50			おどけたスニガに対して、冗談の通じないホセはマジに切り返します。	ホセはサーベルをつかんで「さあ来い、目にものをみせてやる！」二人がサーベルを抜いて戦いはじめると奥から密輸業者たちが大勢出てきて、二人を引き離します。
51		F, Fg, Hr, 弦	ここはカルメンがおどけてスニガに話しかけます。そんなスタカートで表現しましょう。	「あらまあ、将校さん・間が悪いときに飛び込んできたわね！」、密輸業者たちはスニガを捕らえます。彼らはスニガを引っ立てて出発します。
53	+9	Vn I	ppでも際立って、フレーズ毎に大きく。	カルメン「これであんたも仲間ね？」、ホセ「しかたないよ、カルメン「あら、こあいさつね！」
54	-6	Vn I, II Va	自由人カルメンのポリシーを高らかに謳うところです。活き活きと、歯切れ良く！	カルメン「何より素晴らしいのは、自由よ！ 自由なのよ！」

Entr'acte 間奏曲				
		FL, CL		元々「アルルの女」のために書かれたのですが、それには用いられなかった曲です。
2		C-A, Fg, Vnl, Vc	コールアンブレとクラリネットが主題、ヴァイオリンとチェロは対旋律、オブリガード風に美しく。	

第3幕 山の中の、岩の多い絵に描いたように美しい場所 (*)

(*) 卜書に「絵のように美しい」とあるのに実際の舞台は寂しく寒々とした岩場が通例です(時間は夜)。なお、「密輸団のアジト」という解説は間違い、ダンカイロが「生まれ！ここで休憩だ」というのですから、野営地とすべきです。

No.19 イントロダクション				
冒頭		Hr	最初が ff、2回目が mf。山の中なのでやまびこ、エコーを表わします。	* 版によって f, mf が逆であったりしますので、CD を聴くと全く違った印象を受けます。
	+5	FL	行進曲。密輸業者の団が荷物をしょって歩いている状況をイメージしてください。	
7		Cho	コーラスが入ります。	「いいか、相棒、頑張れよ。向こうへ着けばたんまり儲かる。だが道中は気をつけようぜ」
9		CL	リズムを明確に、弦の合いの手の3連符は歯切れ良く。	例の6人組が出てきて「この商売は悪くないが、ちよいと肝っ玉が太くないといけな〜」

No.19BIS レチタティーヴォ				
			練習番号12までと、13からがレチタティーヴォ。途中、No.19の行進曲が挟まる。	ダンカイロ「生まれ！ここで休憩だ。」
13				カルメン「何を見ているの？」、ホセ「あそこには気立てのいい老女がいるのだ、と自分に言い聞かしている」(つまり、この場所がホセの故郷ナバラの近くであることが前提になっています。)
	+7	Ob, CLI	ホセが故郷や母に思いをさせている間、第1幕のミカエラとホセの二重唱の旋律が流れる。	ホセ「悲しいかな、(その人がおれをまっとうな人間と思っているの)は思い違いだ。」、カルメン「老女って誰？」、ホセ「おれのおふくさ、カルメン「じゃ、直ぐ出なければ？」、ホセ「出かけるって、別れることか？」
14	-5	Vc	「運命のモチーフ」です。	カルメン「まあ、そういうことね、ホセ「別れるって？カルメン。」
14			ホセの怒りが爆発します。	ホセは激高して「もう一度そのせりふを言ってみろ、カルメンは冷やかに「殺すって言うんでしょ？」

No.20 トリオ(3重唱~カルタの歌)				
冒頭		Vnl, II, Va	ppでも大きめで16分音符をクリアに弾いてください。	練習で時間をかける箇所のひとつです。
15			軽快に、歯切れ良く。	メルセデスとフラスキータ「ませて、切って、さぁこれよし…」、トランプ占いをします。
17	+2	弦	レチタティーヴォ。フラスキータのアウトタクトを聞いて頭をそろえ、少し上がったテンポに乗るこ	ふたりとも未来の運勢は恋人に巡り会ったり、大金持ちになれると出たので大いに喜びます。
20	-8	Hr, Tp, Tb	不吉な予感を漂わせてください。	カルメン「それなら、今度は私がやるわ」
20		FL, 金管, 弦	「運命のモチーフ」です。弦は不気味なピチカート、5小節目の ff は運命の一撃。	カルメン「ダイヤ！ スペード！」、「まあ、死ぬんだわ！」
21		弦	陰鬱な短調。引きづるような足取りで、平らな pp ではなく、最初の2小節はやや大きめ(歌が入る前)、以下の小節はほんの少し大きめで、5小節目、9小節目、13小節目(ここでは少し rit.)、17小節目(これも rit.)。練習番号22の前2小節間はモルト・クレッシェンド。	カルメンの歌としては「ハバナラ」「セギディリヤ」に次ぐ重要な曲。音程の跳躍がない単純な曲ですが、感情表現を駆使する聴かせどころです。カルメン「苦い返事を避けようとしても駄目、カルタを混ぜても駄目。カルタは正直、うそはつかない！…20回やり直しても、無情のカルタは「死」の字を繰り返すだろう！…」

No.20BIS レチタティーヴォ				
冒頭		弦	テンポを憶えて、正確なリズムで弾きます。	ダンカイロが(税関の)偵察から帰ってくる。
終わり	-5	弦	カルメンの威勢のいい掛け声に呼応した元気のいい音楽です。	ダンカイロ「さあ、突破をしようじゃないか！ ホセ、お前はここに残って荷物の見張りだ！」 カルメン「荷物をとって出かけよう、とにかく突破よ、やればできるわ」

No.21 アンサンブル				
			6個というややこしい調(変長調)ですので、音を間違えないように、	練習で時間をかける箇所のひとつです。
15			軽快に、歯切れ良く。練習番号26から合唱も加わります。	メルセデス、フラスキータ、カルメン「税関吏はあたしたちが引き受けたわ！…」
29	-8	Vn I, II	女が税関吏を誘惑する音楽です。とにかく、家できちんと音を取り、さらうしかりありません！	同上「…ちよいとだけ腰を抱かせてお世辞を聞かせればい〜にっこりすればいい〜」

No.22 アリア				
冒頭		CL	荒涼とした場所に場違いな少女が一人、そんな雰囲気を出します。	ミカエラが山道を登ってくる。
	+11		レチタティーヴォ	ミカエラ「ここが彼らの隠れ家ね、あの人はここにいる、きっといる。」
32		Hr	全曲中もっともホルンが輝く瞬間です。このアリアの後奏でも主役です。ミカエラへ拍手をしようと待ち構えているお客さんの手を止めて唸らせるくらい美しく！	ミカエラのアリア「何もこわがることはない、ああ、でもひとりてどうしよう…神様、私にご加護を！…」
	+5	Vc	アルペッジョ。	
33	+7	Vn I, II Va	出るタイミングは皆同じです。ミカエラのアウトタクトを聴いて出ると、リズムを憶えることが肝要です。少女に似合わず、過激な言葉で激しくカルメンに挑戦する、健気だけ激しさのある音楽です。	「今度こそじっくり見てやるわ、あの女、呪われた手管でもって、あたしの愛したあの人を、恥知らずの男にしてしまった、あの女を…」
34	+2,4	Vc	不安げな Vn, Va のシンコペーションとは別に、気丈なミカエラの決意を Vc が表現します。	「でも、怖がったりするものですが、面と向かってはっきり言ってやるわ！」
35	-5		(急き込んでクレッシェンドした後)やや落ち着いたテンポでミカエラの信心深さ描きます。深々としたいい音で f を演奏してください。	「神様、どうぞおまもりください！」 このアリアのクライマックスです。

No.22BIS レチタティーヴォ				
冒頭		弦	4拍目からアップでクレッシェンド、その後は緊迫感を持って、	ミカエラ「私、間違っていないわ、あの岩の上にいるのはあの人だわ、何をしているの？あ、撃つわ！」
	+9		1拍目の休符の時に銃声が鳴ります。弾けるように ff の大音響で、	ホセは暗がりの中こっちへくる怪しい者めがけて銃を撃ちますが、外れたらしく、
終わり	-5		恋敵が思わぬところで遭遇するところです。	エスカミーリョ「あ、現れ、もうちょっとでお陀仏だったよ、ホセ「名前は、返事をしろ！」、エスカミーリョ「まあまあ、お手やわらかに！」

No.23 デュエット				
38	-5		このデュエットはカルメンを取り合うホセとエスカミーリョの決闘する曲です。ここはまだ脱み合い、エスカミーリョのにやけた顔を思いながらピチカートとスタカートで掛け合います。	「おれはエスカミーリョ、グラダナの闘牛士だ！」、ホセ「…ここはあぶないぞ」 「あいに女に惚れているんだ、熱烈に！」、「その女の名前は？」、「カルメン」、ホセ「カルメン！」 ホセは自分のライバルがこのエスカミーリョであることをこの時知ります。
39		Vn solo	自分の噂話をエスカミーリョから聞かされるホセの心境は如何に？	エスカミーリョ「前に聞いたが、あの子のために軍隊を脱走した兵士を恋人にしていたが…」
40		Vn I, II	テンポを戻し緊迫して、	ホセ「だが、その女を連れて行くには支払いがいりぜ！」、エスカミーリョ「いくらでも払うぞ」
	+8		9小節目の ff は鋭く緊張感を持って短く、11小節目の弦も鋭いスフォツツァンド・ピアノ sffp。	ホセ「じゃ、ナイフで決闘してもらおうぞ！」
41	-8	弦	エスカミーリョの皮肉たっぷりの言い回しをピチカートで表現します。	エスカミーリョ「なるほど、読めた。例の脱走兵とはあなたのことか？」
41			風雲急を告げるシーンから切りつけ合う躍動感のあるシーンへと強弱のコントラストをつけて、	二人はナイフを抜き放って身構え、決闘が始まります。

No.24 フィナーレ				
冒頭			前のナンバーの最後の小節の4拍は駆け込まないで！	カルメン「やめて、やめて、ホセ！」、カルメンとダンカイロらがやってきて、ふたりを引き離す。
44	-1	Vc	こんなガキとはやっつけられないと威厳ある格好をカルメンに見せつけるエスカミーリョのキザなところを音楽にしてください。練習番号45の6小節前はカルメンへの情熱を込めて、	エスカミーリョ「いつも勝負の続きをやるぜ、…お別れに皆さんを闘牛に招待したい…」
45	-4	FL	エスカミーリョがカルメンを見つめるところです。男の色気！？	エスカミーリョがカルメンに思わせぶりの目配せをして、
45	+9	CL, Fg, Va, Vc	例の「闘牛士の歌」の旋律がクラリネットとチェロの表、対旋律をファゴットとチェロの裏で、	余裕しゃくしゃく、悠然と退場します。いきり立ったホセはダンカイロに抱きとめられます。

46			3連符の掛け合い、最初は pp です。ダンカイロが加わってから合唱が入ってクレッシェンド。	ホセの強がり、終始情けない格好の悪いホセです。他の人は「急げ」と仕事に精を出します。
47	-9		レメンタードの警告で全員の動きがビタリと止まります。短い ff。その後の弦は pp。	レメンタード「待て！誰かあそこに隠れているぞ！、カルメン「ま、女よ！…ホセ「ミカエラ！」
47			ホルンのアクセントは重要です。第1幕でのミカエラとホセの二重唱の旋律です。	ミカエラ「お母さんが泣いて、あなたを呼んでいるの、ホセ、いっしょに来て頂戴！」
48	-10		再び、ホルンの和音、特に次の小節で半音変わるところは正確に、テンポは戻っています。	カルメン(ホセに)「行きなさい、その方がいい、この仕事はあなたに合わないもの、」
48	-6		Pcco Animato 往生際の悪いホセのあがきです。練習番号48はホセのアウフタクトを聴いてから。	ホセ「いやだ！おれが行けば、お前は新しい恋人を気兼ねなく追いかけるというわけか！」
48	+5	Fg, Vc	「闘牛士の歌」の旋律の変形でしょうか、情熱的に、その後の3連符はしっかり！練習番号49の5小節目から同じです。	ホセ「おれたちをつなぐ鎖は、死まで切れはしない！」*初版では第1幕の「ハバナラ」の後でカルメンがホセに何をしているのと尋ねた際、ホセは鎖を作っていると答えています。
49	+14		レチタティーヴォ。この小節の頭の和音は短く！すぐにミカエラが歌います。Moderato のフルートとクラリネットの和音はミカエラの最後の音符に合わせて。	ミカエラ「最後に言わせて！お母様はあと一日か二日の命なのよ、死ぬ前にひと目、息子に会いたがっているのよ！」
50	-7		Allegro はまだ f ひとつです。	ホセ「おふくろが死にかけているって！…行こう！」
50		木管, Hr	「運命のモチーフ」です。ホセの捨て台詞によってカルメンの運命を垣間見ます。	(1小節前に)ホセ「…おれは行く、だがいつかまた会おうぜ」
	+7		「闘牛士の歌」です。終わり11小節は密輸業者たちが荷物を担いで歩く様を表現します。	エスカミーリオ(舞台の裏から)「トレアドール、構えはいいか！…」退場しかけたホセが立ち止まる。

Entr'acte 間奏曲(アラゴネーズ)

			いかにスペインといった輝く太陽、フラメンコ、手拍子、タンバリン…といったイメージで、	「アラゴネーズ」はスペインのアンドルシア地方の民俗舞踊曲。
5		木管, 弦	3小節間、弦はダウン・ダウンで必死で弾いています。つまり、ブレーキがかかるということです。何故そうするか、「昔から誰もがそうしている」と答えるしかありません。お客さんは皆知っています	

第4幕 ゼヴィリアの広場(闘牛場の外壁が見える)

*初演版では第3幕の第2場となっています。

No.25A 合唱				
冒頭		Hr, Tp	この出だしがとても大切です。前の曲からアタックで直ぐに開始され、しかもひとつ振りということ、テンポ感が掴みにくいところ。練習でテンポに慣れことが肝要です。	練習で時間をかける箇所のひとつです。
	+11	Vn I, II	テンポがすべてです。急がないこと、3連符を正確に。	
	+7		ここから合唱が入ります。	街に行きかう人々に店の売り子たちが威勢よく声を掛けます。「2クワルトでいかが！…」「水は！…」「酒は！…」

No.26 行進曲と合唱

No.25B, 25C, 25D はカットです。演奏しません。

			前奏曲に採用された箇所です。オペラの序曲や前奏曲は、それらが最初に作曲されるのではなく、全曲が出来上がったから、象徴的な場面の音楽やストーリーや主人公の心情を表わす音楽を寄せ集めて最後に作るのが通例です。	子供たちが「ほらきた！クワドリリャだ！」と張り切り、群集も興奮します。様々な闘牛士たちが行進できます。クワドリリャ=4人組の闘牛士が先頭になって入ってきます。本来は先頭がエスパルダですが、効果を高めるためにト書きでは最後にエスカミーリオが行進してくるということになっています。
17	-4	Tp, Tb	二長調に転調、シュロスの行進をファンファーレで迎えます。	
17		CL, Fg, Va, Vc	男声合唱の凛々しい声を支えます。	シュロス=牛を怒らせる役が登場。「大胆なシュロス、その行進に敬礼しよう！」
		Vn I, II	ちゃんと弾くのは大変な箇所です。トリルの頭にアクセントをつけます。	ハンデリエーリョ=リボンをついた槍で牛を怒らせる役の闘牛士が登場。「勇氣凛々このあの姿」
20	+5	Tp, Tb, 弦	へ長調に転調、ピカドールの行進。Tp と Tb は弦が入る前の最初4小節間をしっかりと。	ピカドール=騎馬闘牛士が登場。「ピカドールのあの男前！槍をかざして馬を走らせ…」
21		CL, Fg, 弦	変二長調に転調、エスパルダの行進。	エスパルダ=牛にとどめを刺す闘牛士、すなわちエスカミーリオが登場。
22			元の調に戻って、堂々とヒーローを称えます。1小節前で少しテンポ・ルバート。	「これぞエスパルダ、細身の剣…、最後に現れて、とどめの一撃。ばんざい、エスカミーリオ！」
23	-1		こも少しテンポ・ルバート。指揮者を見ましょう！	
25	-2	Hr	大音響の直後、ホルンだけが残ります。	
25		Vc	2パートの分かれる厄介な箇所です。8分音符をしっかりと弾きます。	エスカミーリオ「おれが好きなら、カルメン、間もなくおれを誇りに思うぜ」、カルメン「あなたが好きよ」
26		CL, Fg, Hr	しっかり音を取って和音を作ってください。4つ振りです。	警官「どいた、どいた、長官さまだよ！」
27	-16	FL, Fg, Tp	美しく着飾ったフラスキータとメルセデスを描いている音楽ですが、それにしても可愛すぎる音楽です。ラッパの合いの手、極めて重要です。	フラスキータ、メルセデス「カルメン、忠告するわ、ここにいちぢだめよ。…あの男、ホセがいるのよ！…気をつけて！」
27		弦	息を殺したように、少し不気味に。	カルメン「あの人の前で震えるあたしじゃない、待ち構えて話しかけてやる」
28		弦	下降する半音階は「運命のモチーフ」の変形、終わり8小節前でははっきりと現れる。	群集、フラスキータ、メルセデスが闘牛場の中に入る。ホセの姿が見えてくる。

No.27 デュエット・フィナーレ

冒頭			切羽詰ったホセの不安定な心の内をシンコペーションの多用によって強調しています。二人のやりとりでテンポが大きく動きますが、指揮棒をよく見て縦の線をしっかりと合わせるのが肝要です。また、CDを繰り返し聴いて音楽の流れを頭に入れることも大事です。最初の3小節は拍の頭だけ振ります。	カルメン「あなたね？」ホセ「おれた。」カルメン「知っていたわ。あなたがきつと来るということ。気をつけるって言われたけど、でも、あたしは平気よ。逃げようともしなかったわ。」
29		弦	ここに来るまで考えていたことを冷静に話そうとするホセの抑えた調子。	ホセ「おれたちの過去は忘れよう…もう一度やり直そう、どこか他の土地で」
	+11	弦	ややテンポを前に、イライラしているカルメンをピチカートで。	カルメン「無理な相談を吹っかけないでよ！…あなたとはもう切れたのよ！…」
30			こもシンコペーション、9小節目は哀願するホセです。練習番号32も同じです。	ホセ「カルメン、今なら間に合う、お願いだ、お前を助けて、おれも助かりたい…」
31			弦のキザミは2小節間 pp です。不安を掻き立て、カルメンの拒否を強調します。	カルメン「いいえ！わかっているの、あなたがあたしを殺すってことをが、…言うことなんか聞かないわ！」
33	-10	Tim, Vc, Cb	この3パートで途切れない心臓の鼓動を聞かせます。休憩の時は他のパートが弾いています。	(3小節目に)ホセ「じゃ、もう愛してはくれないのか？」
33	-6		観客も息が止まるどころです。全曲を通して、最も重要な瞬間と言えます。	カルメン「…」この沈黙が効いています。
33	-2	CL, 弦	ホセの胸にグサツとくる ff です。これを境にホセは提案から哀願へと移っていきます。	ホセ「じゃ、もう愛してはくれないのか？」と、繰り返す。ようやく、カルメン「ええ、もう愛してないわ」
33		Hr	弦楽器は全弓で激しく、ホルンは2小節目からテンポ引き継ぎます。11小節目の Vn と Va の3連符は、第2幕のフィナーレでの密輸業者たちの音楽を想起させます。	ホセ「だが、カルメン、おれはまだ愛している。…おまえが好きだ、好きなんだ！…山賊のままでもいい、なんでもするよ、…」
34		Hr	ここの6連符も大事です。ホルンだけです！今にも泣き出さんばかりのホセです。	ホセ「音を思い出してくれ、この前まで愛し合っていたじゃないか、…カルメン、捨てないでくれ！」
35	-5	弦	その1小節前の3拍目にヴィオラ以下の fp があることを譜面に書き込みましょう。	ホセ「捨てないでくれ！」
35	-3		カルメンの激しい拒絶を鋭く、勢いをもって。	カルメン「カルメンは言うことなんか聞かない、自由に生まれて、自由に死ぬのよ！」
35		パンダ		折りしも闘牛場から歓声が、カルメンは喜び声を上げます。さらに闘牛場の方へ行きかけます。
36		弦	キザミは最初の8小節間は pp です。嫉妬の火がついたホセはここで哀願から命令調になっていきます。	ホセ「どこへ行く？、カルメン「はなしてよ。」ホセ「喝采を浴びているあの男がおまえの新しい恋人だな？、カルメン「はなしてよ！」、ホセ「…おれについて来い…あいつが好きなのか？」
37	+3	弦	1小節前に管の2分音符が2個、この小節に1個あります。ガイドを書きましょう。	カルメン「好きよ！彼を愛しているわ。たとえ死ねと言われても…」
38			「運命のモチーフ」が ff で演奏されます。	ホセ「おまえは行ってしまおうか…いや、血にかけても行かせないぞ…」
39	+5		細かく言うと、ここで、指揮棒を指から抜き、練習番号40番の1小節前で投げつけます。歌手も興奮していますからそんなにうまくはいきませんが、ピッチから舞台は見えませんが、ここは指揮者を見て入ってください。	カルメンが以前ホセからもらった指揮棒を指から抜いて、投げつけます。「いやよ！いや！この指揮棒、昔あなたがくれたやつ、さあ返すわ！」
40		パンダ	ホセがカルメンをナイフで刺す瞬間です。外すとカッコつかないですが、もっと重要なのは、この1小節間のファンファーレを前奏にしてバックステージのコーラスが歌い始めます。責任重大です！	ホセはカルメンをナイフで刺します。ホセ「こいつ！畜生！」
41			再び、「運命のモチーフ」	ホセ「おれを逮捕してくれ…おれが殺したんだ…カルメン、おれの大事なカルメン！」幕

